

# 地域から子育てを！

## —子育て啓発週間 2月18日～24日—



▲子育て広場

市は、急速な少子化が進行する中、次代の社会を担う子どもたちが健やかに生まれ、育つことのできる社会をつくることを目的に、平成16年度に『次世代育成支援行動計画』を策定しました。

この計画にご理解とご協力をいただくため、『子育て啓発週間』（5・10・2月）を定めることにしました。

子育ては、喜びや悲しみ、そして悩みなどを繰り返しながら、その積み重ねで親と子が共に成長していくものです。

この週間に子育てについて考えてみませんか。

### 子育ての担い手は お母さん1人ですか

かつて子どもは地域の皆さんで育てていましたが、高度経済成長期以降に、父親は仕事、母親は家事と育児の責任を負う役割分業が一般化しました。

母親であれば立派に育児ができて当たり前という考え方が広まったことで、責任を負い家庭に閉じこもり精神的に悩みを抱えるようになったと思われまます。子育ては母親一人で担えるものではないのです。

### 子どもを見守る目を 増やそう

子育てに大切なことは、精いつばいの愛情と、子どもと向き合うこと、そしてある程度の子育ての知識で、それがあれば親も適切な子育てができます。

日ごろ、子どもに「ちゃんとあいさつするんですよ」と話をしていられると思いますが、大人同士がちゃんとあいさつや言葉を交わすことによってつながりが生まれ、笑顔が増える様子を子どもたちが目にするのは大切なことです。

たくさんさんの目が増えることで、今までは子どもにとって親の愛



▲お父さんと遊ぼう

情が最善でしたが、その周りでもさまざまな個性や価値観を持つ方がたが関わることで、人間関係や『して良いこと』『して悪いこと』を学んでいきます。

また、母親も孤立感や育児の負担感が軽減され、祖父母も孫の成長が楽しみになるようになります。

子どもは、親はいつも自分を愛し守ってくれて、祖父母や保育所・幼稚園の先生なども、自分を愛し面倒をみてくれることを知ります。

『たくさんさんの目』で見守られることが子どもには必要です。

子どもを見守る目を地域に広げることで、子どもへの犯罪防止や交通安全などの面でも協力し合うことができるようになります。地域で子育てに参加してみませんか。

### 市の事業に参加しませんか

市は、子どもと地域がふれあう『子ども地域交流プラザ』や『世代間・異年齢交流』などの事業を行っています。

また、子育てで悩むお母さんには、子育て支援センターでの『子育て相談』や『子育て広場』なども行っていますので、どうぞお気軽にご参加ください。

### 子育て啓発週間中の市の事業

#### ◎子育て支援講演会

▼日時 2月18日(土) 13時～15時

▼場所 しんた21

▼テーマ 『子どもの心、見えていますか』家庭、地域で今、求められるもの』

▼講師 市川敬子さん（北海道大学講師）

▼申し込み 2月15日(水)までに電話で登別市ファミリーサポートセンター（しんた21内 ☎0033）

#### ◎お父さんと遊ぼう

▼日時 2月18日(土) 10時～12時

▼場所 中央子育て支援センター

※詳しくは13ヶを参照。

▼日時 2月24日(金) 10時～12時

▼場所 若草放課後児童クラブ

※詳しくは13ヶを参照。

▼日時 2月24日(金) 10時～12時

▼場所 若草放課後児童クラブ

※詳しくは13ヶを参照。

▼日時 2月5日(日) 10時～14時

▼場所 ふおれすと鉾山

※詳しくは13ヶを参照。

▼日時 2月5日(日) 10時～14時

▼場所 ふおれすと鉾山

※詳しくは13ヶを参照。

▼日時 2月5日(日) 10時～14時

▼場所 ふおれすと鉾山

※詳しくは13ヶを参照。

▼日時 2月5日(日) 10時～14時

▼場所 ふおれすと鉾山